

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業改善を

令和元年7月31日に、全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本調査の目的は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、確かな学力の定着や学習状況の改善に役立てることです。各学校においては、児童生徒一人一人の学習状況の把握・分析を計画的に進めていることと思います。自校の課題を明らかにして、全職員で共通理解を図り、今後の授業改善につなげていただくようお願いします。



学校支援訪問を振り返って②

「めあて」と「まとめ」の設定について

日々の授業において「めあて」と「まとめ」、「振り返り」を適切に設定することは、児童生徒の学習意欲を向上させるとともに、学習内容の確実な定着にもつながります。

第1学期(第1学期前半)の学校支援訪問においては、多くの学校・学級で「めあて」と「まとめ」を適切に設定した授業が展開されていました。一方、めあてを「○○○○をがんばろう」と漠然と示したり、単元名や教材名をめあてとしたりするなどの授業も散見されました。また、めあてとまとめを設定しているものの、その整合性が取れていない授業も見られました。

授業のめあては、学習課題として表記したり、行動目標で表記したりするなど、教科・領域または授業内容によって幅がありますが、全教科・領域等に共通する以下の5つの留意点について再確認をお願いします。

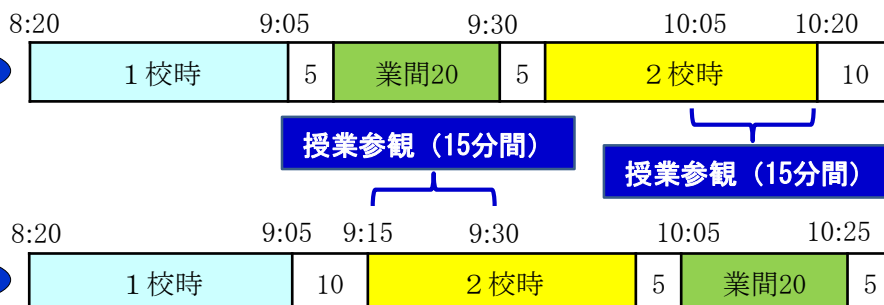


- ① 前時とのつながり、あるいは授業の導入時の児童生徒とのやりとりの中で設定されているか。
- ② 抽象的あるいは曖昧な表現ではなく、児童生徒が理解しやすい表現になっているか。
- ③ 児童生徒にとって授業のゴールの姿となっているか。
- ④ まとめとの整合性が図られているか。
- ⑤ 児童生徒が主体となる言葉で表現されているか。

相互授業参観の取組紹介①

宮崎市立大久保小学校

校時程を以下のとおり設定して、授業参観者が担当する学級の自習時間をなくし、日常的に相互授業参観ができるように工夫しています。



1校時または2校時の後に業間時間を設定することで、2校時前半または2校時後半の15分間の授業参観が可能となっています。

※ 例えば、授業者の学級がA校時だった場合、授業参観者の学級はB校時に設定して、2校時の後半15分間を授業参観することになります。